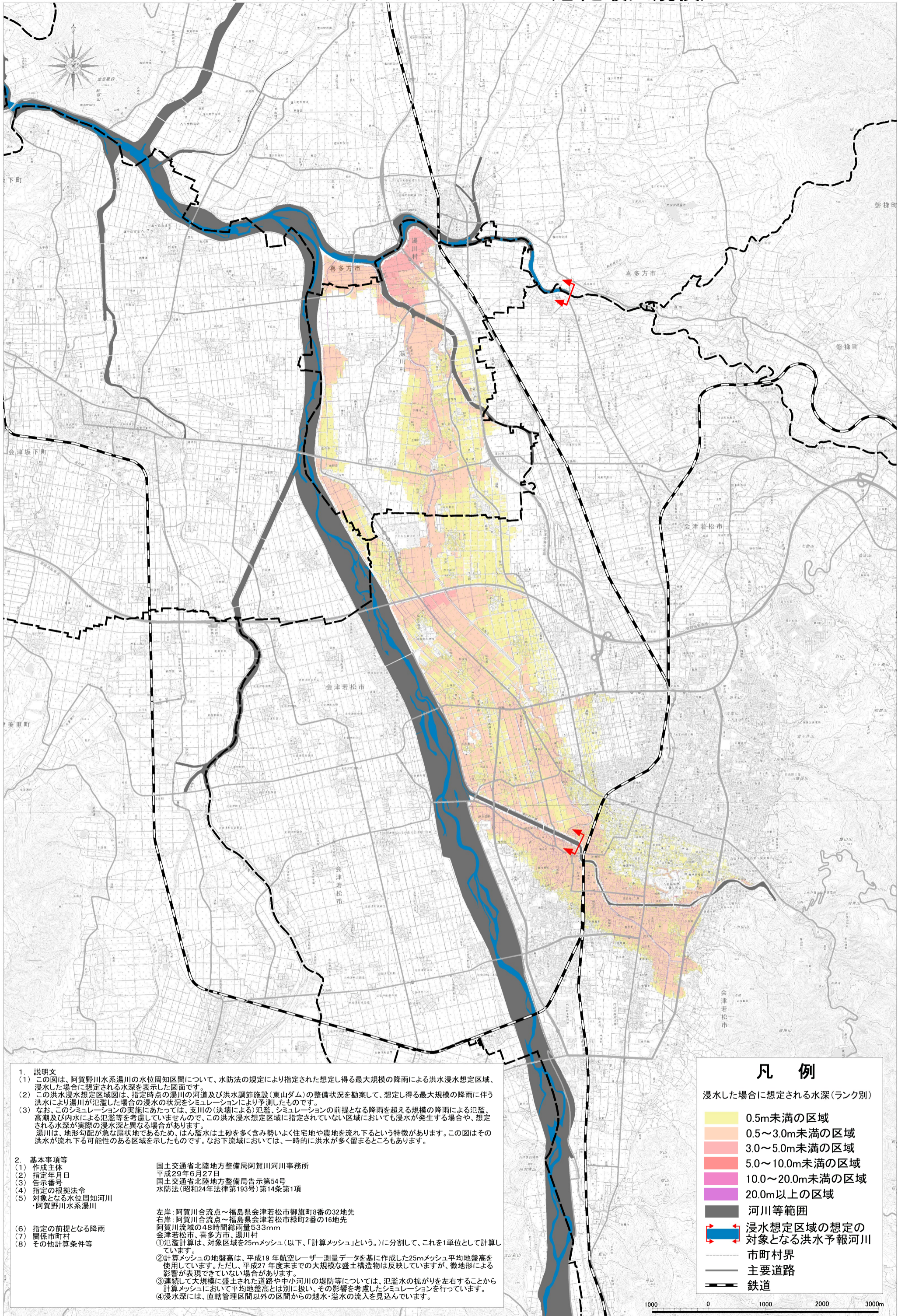


# 阿賀野川水系湯川浸水想定区域図（想定最大規模）



**1. 説明文**

(1) この図は、阿賀野川水系湯川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の湯川の河道及び洪水調節施設（東山ダム）の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湯川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

湯川は、地形勾配が急な扇状地であるため、はん濫水は土砂を多く含み勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が多く留まる場所もあります。

**2. 基本事項等**

(1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局阿賀川河川事務所  
 (2) 指定年月日 平成29年6月27日  
 (3) 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第54号  
 (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項  
 (5) 対象となる水位周知河川・阿賀野川水系湯川

左岸：阿賀川合流点～福島県会津若松市御旗町8番の32地先  
 右岸：阿賀川合流点～福島県会津若松市緑町2番の16地先  
 阿賀川流域の48時間総雨量533mm  
 会津若松市、喜多方市、湯川村

(6) 指定の前提となる降雨 ①氾濫計算は、対象区域を25mメッシュ（以下、「計算メッシュ」という。）に分割して、これを1単位として計算しています。  
 ②計算メッシュの地盤高は、平成19年航空レーザー測量データを基に作成した25mメッシュ平均地盤高を使用しています。ただし、平成27年度末までの大規模な盛土構造物は反映していますが、微地形による影響が表現できていない場合があります。  
 ③連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の拡がりを左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。  
 ④浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。

**凡例**

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域
- 10.0～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の想定の対象となる洪水予報河川
- 市町村界
- 主要道路
- 鉄道